

～関東の名湯で冬を楽しみました～

鶴巻温泉 一泊の旅

二月の寒い時期でしたが、二日間とも天気に恵まれた楽しい鶴巻温泉と大山の一泊二日の旅行でした。

日時：2017年2月12日（日曜日）より一泊

参加費：1,000円 宿泊費：14,500円

自己負担：交通費（現地往復）、昼食代（豆腐料理）、飲み物代など

参考；新宿→鶴巻温泉 600円（片道）

大山ケーブル 630円（片道）

*大山地区 乗り放題チケット有り

豆腐料理コース 2,500円

参加者：9名

リーダー：1名

集合：小田急電鉄鶴巻温泉駅前 当日13時30分

宿泊旅館：大和屋旅館

二日目大山阿夫利神社参拝、豆腐料理

工程：第一日目 集合；鶴巻温泉駅 → 大和旅館 → 宿泊 → 宿泊所；宴会、懇親会

第二日目； 宿泊所；朝食 → 大山散策 →

大山阿夫利神社参拝 → 昼食；名物豆腐料理 →

鶴巻温泉駅 → 小田急新宿駅；解散

大山散策



古くから霊山として篤く信仰をされていて、江戸期には年間数十万の人々が来山したとの記録があります。

江戸から数日の距離にある大山は気軽に参拝できるので、行楽地としても愛されました。往事の様子は、古典落語「大山詣り」にも取り上げられています。

鶴巻温泉（つるまきおんせん）

鶴巻温泉は神奈川県秦野市にある小規模な温泉郷で、駅からすぐ近く、交通の便が良く人気です。



源泉温度 26.3 - 37.3℃で、泉質のカルシウムイオンが牛乳並に多く含まれています。美肌効果や、神経痛、筋肉痛、痔、外傷、やけどなどに効果的だそうです。

大和屋（宿泊旅館）

神奈川県秦野市の小田急線「鶴巻温泉駅」より徒歩3分の場所にありました。神奈川の温泉宿として、創業95年の老舗旅館です。



大山阿夫利神社 関東総鎮護

阿夫利神社は、古代から人々の心の拠り所となり、国を護る山・神の山として崇められてきました。山野の幸をつかさどる水の神や山の神として、また、海上からは羅針盤をつとめる海洋の守り神、さらには、大漁の神として信仰をあつめました。山岳信仰の中心にもなっています。



大山豆腐料理

大山の豆腐は、本にがりを使用している。「本にがりの絹ごし豆腐は美味しい」ことは、ご存知の通りです。味が決めて、まさにそこが人気の人気たる所以です。

大山講

江戸期には、近所同士、職業同士で団体「講」を作り、寺社に参拝をしました。現在でも多くの講社があり、主に夏の開山時期に参拝されています。

阿夫利神社三大講社の一つでもあるお花講は、江戸時代からのもので、夏山開きに登山道を開門するといった役割を担っています。このような、昔ながらの多くの風習が残っています。

リーダーから

一日目は、鶴巻温泉の旅館に午後の時間帯にゆつくりと集合する予定でした。

が、松田の河津桜が満開を迎えるとのことで、急遽予定を追加しました。11時新宿発の新松田行きの列車に乗り、河津桜を鑑賞することを提案し多くの方が、参加されま

した。松田の河津桜は、現地でのさくらまつりが始まったばかりでしたが、すでに満開で、



天気も良く富士山も良く見えました。

大和屋さんは、昔ながらの旅館で、温泉もゆったりした湯で当日は宿泊は我々グループとあと一組だけで貸切り状態でした。大山も天気よく景色美しく、満喫しました。楽しい旅でした。

参加感想文

(埼玉 鴻巣市)

2月12日(日)11時、新宿より小田急電車に乗り新松田駅へ。西平畑公園での「まつだ桜まつり」で満開の桜を見る。天気にも恵まれて富士山も見ることが出来た。2月に桜を見ることができるとはびっくり。

その後、鶴巻温泉へ移動、時間があったので近くを散策。宿にもどり温泉につかり、懇親会も皆で楽しく過ごした。

翌日は朝風呂につかり朝食後、大山阿夫利神社参拝へ。沢山の階段を上り、ケーブルカー乗り場へ。乗車時間6分で神社へ。お参りの後は大山を散策し、豆腐料理の昼食を頂く。バスで鶴巻温泉駅へ移動。

解散後、家路に着く。楽しい一泊旅行でした。参加者と懇親も深められ、ありがとうございました。

神奈川県 横浜市)

しばらくぶりに大山散策、天気にもぐまれ東には大島 新島西には三浦半島から房総半島まで見渡せ 絶好の旅行日和でした。

(東京都杉並区)

村上リーダーのもと、鶴巻温泉の旅は久しぶりの宴会料理に話も弾み楽しい時間を過ごしました。

鶴巻温泉は東京の奥座敷として明治22年開湯以来130年ほどの歴史があります。湯質は塩分を多く含んでいるため飲用に適さず、また灌漑用水にも使えないので浴用にしているのが始まりです。湯加減は摂氏41度、湯あたりせず、長湯が出来る特徴があります。新宿から小田急線で鶴巻温泉駅まで1時間で行けるのでまた訪れてみたい名湯です。

スナップ写真

